

# KG-S ジャッキシステム(KG ケーソン独立圧入ジャッキ)

NETIS 登録申請予定

## ◆概要

従来型圧入ケーソンでは、油圧ユニットを地上に設置し、作動油を送ることで桁上すべての油圧ジャッキを稼働させていた。

KG-S ジャッキシステムでは、個々のジャッキと油圧ユニットを一体化することでジャッキごとの圧入管理を可能とし、迅速なケーソン傾斜制御によるより良い品質を目指している。

### 《システムの特長》

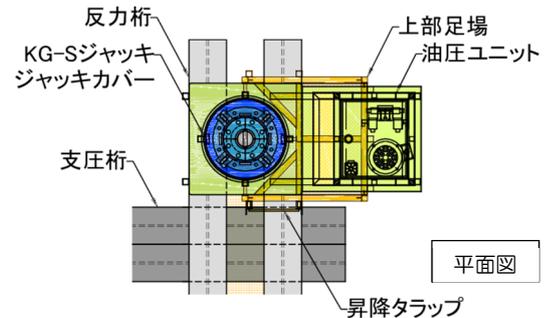
- ・油圧ユニット・ジャッキの**一体化**
- ・油圧ユニット・ジャッキの**フレキシブルな配置**
- ・従来型 K-G ジャッキシステムを大幅に**小型化**
- ・油圧ユニット・ジャッキの一体化に伴う**油圧ホースの短尺化**



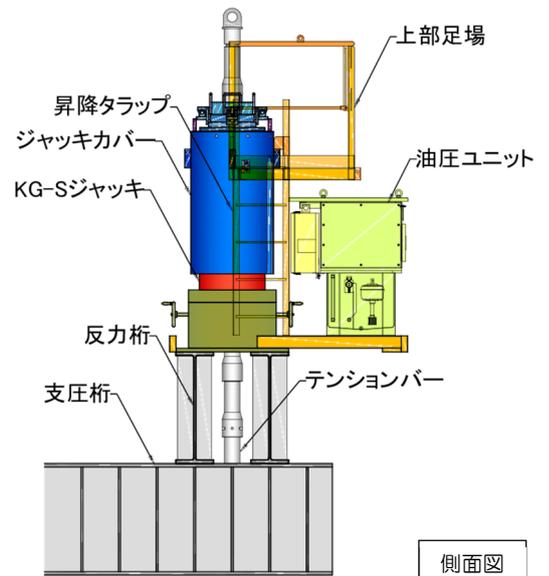
《掘削圧入状況》

### 《従来ジャッキとの比較》

	KG-S ジャッキ	従来ジャッキ
構造	センターホール型	2本/組
寸法 (mm)	W900×D900 H≒2000	W1510×D1500 H≒1750
質量	約 3220 kg	約 5150 kg
反力伝達装置 (テンションバー)	φ160 170kg/本 ℓ = 1350 mm	φ230 360kg/本 ℓ = 1500 mm



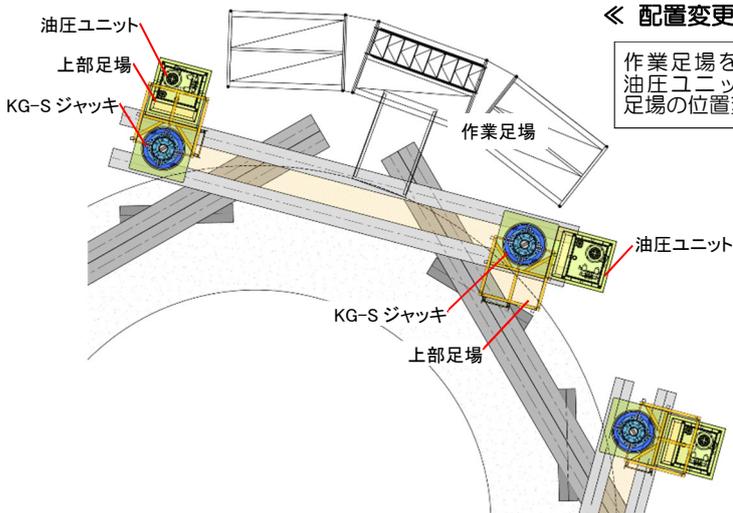
平面図



側面図

### 《配置変更例》

作業足場を避けて油圧ユニット上部足場の位置変更



### 《システム構成》

## ◆期待される効果

- ・油圧ユニット・ジャッキの一体化による**迅速な傾斜制御**
- ・変更可能なシステム配置で**現場状況に対応**(左図参照)
- ・ジャッキシステム小型化により**小型ケーソンに対応**
- ・油圧ホースの短尺化で**公衆災害(油漏れリスク)の低減**